又同郡ノ田代岳ニ昭和 10 年 5 月ニ純白色ノモノ唯1株ヲ採集シタ。觀察ノ結果、正常ノモノノ葯ハ紫紅色デ、同色ノ花粉ヲ出スモノデアルガ、コノ白色系統ノ花被ノ品デハ、葯ハ淡黃色デ同色ノ花粉ヲ出スコトヲ知ルニ至ツタ。

東北博物界 第6號 24 頁ニ、岩谷喜代次氏ガ北海道日高種馬牧場ニ 1株ヲ得タルコトヲ報ジ、葯ノ色ニツイテハ何トモ述ベテキナイガ、筆者ハ多分淡黃色デハナカツタカト想像シテキル。

花被ノ純白色又ハ白紫色ナルコトト、葯ノ淡黃色ナル點ヨリシテ、變種トスベキモノデハナイカト思フ。　（松 田 孫 治）

○花被ニ斑點無キくるまゆり

井上薫氏ガ「富士に產する珍植物（實際園藝、昭和 12 年 4 月號、544-5 頁）」ニ、「富士のクルマユリは二合目邊に點々自生して居るが、このクルマユリの特色とする點は、花瓣に斑點の皆無な點で、他の地方產の同種は花瓣に皆茶褐色の斑點を有するのである。この點は特に異なる所である。」ト記述シテ居ル。花被ノ中下部內面ニ斑點ノ無キモノニ武田久吉博士ハ、forma *immaculatum* TAKEDA（高山植物圖彙圖解、69 頁、昭和8年6月）ト命名サレテ居ル。同博士ハ別ニ其產地ヲ述ベテ居ラナイガ、筆者ガ羽後森吉山（1454 m）ノ700 m 附近ノ路傍ニコノ型ノモノヲ得テ居ルトコロカラスルト、くるまゆりノ產スル所ニハ稀ニ見出サレルモノデアラウト思フ。

尙森吉山ニハ全然斑點ヲ缺クモノノ他ニ、甚ダシク少數ヲ有スルモノ、反對ニ密布シテ一面トナリタルモノガ、普通型ノ中ニ混在シテ居ル。斑點ノ無キモノヲ品種トスベキモノナリトスレバ、未ダ和名ガ無イ樣デアルカラ**ふなしくるまゆり**トデモシテハドウカト思フ。

（松 田 孫 治）

○ぬぷりぽつめくさ

樺太、ヌプリポ山頂デ採集サレ、*Arenaria capillaris* POIR. var. *glandulosa* FENZL ノ學名デ樺太植物誌 73 頁 (1915) ニ發表サレタ植物デアルガ、果實ヲ檢スルト *Arenaria* デハナク、*Minuartia arctica* (STEVEN) ASCHERSON et GRAEBNER ニ外ナラナイ。大井氏ハ植物分類地理 5 卷 148 頁 (1936) デ、*M. arctica* ＝對シえぞたかねつめくさノ新和名ヲ下サレタガ、若シ和名ニモ優先權ヲ認メルナラバ、ぬぷりぽつめくさヲ用ヒネバナラナイ。本種ハ樺太ノ高山ニハ可成リ廣ク分布シテキル。

尙樺太ノ高山ニハからふとつめくさ (*Arenaria capillaris* POIRET) ヲ產シ、コレハ眞ノ *Arenaria* デ *Minuartia* デハナイ。　（原　寛）